

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 新・肥後住宅『ABAIE』(アバイエ)

グループの名称 くまもと未来の住宅を考える会

直近採択グループ番号 06-0222-0758

(グループ代表者)

代表者名	上林 好富	代表者印
代表者所属先	有限会社上林建設	
代表者所在地	熊本県熊本市北区龍田七丁目25番41号	
代表者電話番号	096-339-5573	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社田中材木店	
事務局担当者名	田中 ゆかり	印
事務局郵便番号	860-0813	
事務局所在地	熊本県熊本市中央区琴平二丁目4番10号	
事務局電話番号	096-362-1261	
事務局FAX	096-366-1555	
事務局担当者E-mail	yukari@tanaka-lumber.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	新・肥後住宅『ABAIE』(アバイエ)
2. グループの名称(必須)	くまもと未来の住宅を考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0222-0758
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	熊本県及び近隣県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	上林 好富
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社上林建設
8. グループ代表者所在地(必須)	熊本県熊本市北区龍田七丁目25番41号
9. グループ代表者電話番号(必須)	096-339-5573
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社田中材木店
11. グループ事務局担当者名(必須)	田中 ゆかり
12. グループ事務局郵便番号(必須)	860-0813
13. グループ事務局所在地(必須)	熊本県熊本市中央区琴平二丁目4番10号
14. グループ事務局電話番号(必須)	096-362-1261
15. グループ事務局FAX番号(必須)	096-366-1555
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	yukari@tanaka-lumber.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	18	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	9	
V. 設計	27	
VI. 施工	37	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
	桧	熊本県及び近隣県	合法木材証明制度	3	国内	
	杉	熊本県及び近隣県	合法木材証明制度	3	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		50	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	5	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		18	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		30	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		8	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		5棟				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		600㎡				
					1棟				
					127㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	まずは、全く未経験の工務店を優先する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	40	戸	交付申請戸数	29	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	10	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新・肥後住宅『ABAIE』(アバイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県及び近隣県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) くまもと未来の住宅を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0222-0758	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	寒暖の差が大きい地域であるので、断熱性能を重視し、省エネルギーに配慮する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	熊本は西側に海に面しており、遮るものがないので西日が強い。日射遮蔽に関して①西側の窓を小さくする。②Low-Eガラスを使用する。③庇を付ける、のいずれかで対応する。シロアリ対策として防蟻処理をする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	美しい環境に合った、緑のある家を提案し、植栽スペースを設ける。 通風を良くするために、各室2方向の開口部を設けるか、廊下や階段などの共用部を利用して、風の通り道に配慮する。	◎
④①～③の背景	①熊本は古来より、「火の国」と呼ばれる程、暑い国というイメージがあり、実際夏は蒸し暑い日が続く。しかし、熊本市は山に囲まれた盆地のため、冬は緯度の割に非常に寒くなる。このように、熊本の気候の特徴は、夏と冬の寒暖の差、また、一日における朝晩の気温の差が大きい事である。②熊本は明治の文豪夏目漱石が「森の都」と評したように、緑豊かな地域であり、また阿蘇からの伏流水が地下水となり、熊本市において湧水となる「水の都」でもある。行政においても熊本市は、平成13年度より高木、生垣に対する補助事業も行っている。県内各地に蜚の名所、花の名所が数多くある。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	耐震性に考慮して、出隅部分に筋交の他、構造用面材を使用する、制震ダンパーを使用するなど、事業者により工法は異なるが、耐震等級3をめざして、地震に強い住宅を作る。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 木材については、気候風土に合った地域で育ったものを使用し、標準寸法は、土台、柱については105mm角、又は120mm角を使用する。梁、桁の幅については105mm、または120mmに統一し、コストを下げる。(優良建築物は適用除外)	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 省エネ機器に関しては、共通仕様書から機器を絞り込む。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 省エネ機器については、推奨プランを用意する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局より呼びかけて、共同購買を検討する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 省エネ機器等の推奨プランは、専用発注書を作成し、誤発注を防止する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内に生産合理化委員会を設け、新技術、新商品についても検討を行い、構成員間で情報を共有する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局発行の「田中お役立ち瓦版」や、グリーン化事業の機関誌「紙ひこうき」により、補助金の申請方法や展示会情報、セミナーの案内等を発信しているが、今年度も継続し、構成員の連絡業務に努める。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 統一のチェックシートを用いて施工する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工店による自主検査を共通のチェックシートを用いて必ず行い、ルールに基づいた施工写真を添付し、住宅履歴管理システムに保存する。(優良建築物型は適用除外)	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 項目別に書面で見積、積算を行う。また、見積書の表紙は事務局で作成したロゴ入りに統一する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工現場研修会を行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 週休2日制を目標とする。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 手当による処遇改善を図る。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社会保険の加入を促す。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 年に1回の健康診断の受診を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	オリジナルロゴ、のぼりを使用し、PRに努める。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新・肥後住宅『ABAIE』(アバイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県及び近隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) くまもと未来の住宅を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0222-0758	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴管理システムにデータを保存する。(優良建築物型は適用除外)	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 設計図書その他、省エネ機器などの取り扱い説明書、保証書も履歴情報に保管する。(優良建築物型は適用除外)	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局、施工事業者、施主の共通IDにより、確認を行う。(優良建築物型は適用除外)	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理計画書に基づき点検を行う。(優良建築物型は適用除外)	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 補修工事の際は、工事前後の写真と関係書類も履歴情報に保存する。(優良建築物型は適用除外)	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 履歴管理システム等を使用し、データに残す。施主には、補修時期を自動案内でお知らせする。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ事務局内で開催している感謝祭型の展示会「木愛祭」にて維持管理講習会を実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「木愛祭」にて木工教室を行っている。今後も継続していく。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「木愛祭」にて住まいの相談会を行う。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局内に設置し、メンテナンス手法について周知させる。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 点検シートを用いて、チェック体制をつくる。(優良建築物型は適用除外)	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局にて代替施工構成員を斡旋する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵保険会社による保険事故の施工例研修を行う。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 昨年に引き続き、事務局で企画し、経験工務店、第3者機関によるセミナーを行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 劣化対策を2等級とする。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: チェックシートを作成して、配管、基礎高の寸法などのチェックを行う。	◎
	③-1 需給計画の策定	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 2020年に向けて施工構成員が長期優良住宅、高度省エネ型に取り組めることを目標とする。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内で研修会を継続して開催する。事務局で適合証申請サポート体制を作る。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 31 今年度の参加目標人数 37
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 31 今年度の参加目標人数 37	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局で名簿を作り、参加人数を確認する。講習会の案内を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: HEMS、蓄電池の導入	○
	② 新たな技術等の開発	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 新・肥後住宅『ABAIE』(アバイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県及び近隣県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) くまもと未来の住宅を考える会	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0222-0758													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	使用する主要構造材の優先順位①熊本県産の合法木材証明制度②近隣県産の合法木材証明制度を使用する。また、柱、梁、桁に関しては、成180mmまでは、杉の乾燥材、土台については松材とし、いずれも熊本県及び近隣県の合法木材とする。間柱については、杉KD材とし、熊本県及び近隣県の合法木材を使用する。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域材供給の流れ</p> <p>※この図は代表的なフロー図であるため例外的に異なる場合があります。 ※合法木材の一部において産地・出荷者が証明できない場合があるが、構成員によるものであれば合法性の証明において代替入可。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が在庫を把握する。 ◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「田中お役立ち瓦版」を通じて、価格変動などの情報を構成員に伝える。 ◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局で行う。 ○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 熊本県産の畳表を使用する。 ◎												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 熊本県はイグサの産地である。和室がある場合には、熊本県産の畳表を使用する。 ◎												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 熊本地域は三方を山地に囲まれ、西側を有明海(内海)に面した盆地的要素があり、夏の暑さ、省エネ対策、通風を配慮した家とする。 ◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: エクステリア工事店と連携して、植栽スペースを設ける。 ○												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 熊本はイグサの産地であり、国交省の推奨する「和の住まい」にも紹介されている。熊本が生んだ、誇れる伝統的要素を積極的に使用したい。 ○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地産地消を第一に考える。 ◎												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	被災地の情報を発信していく。	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本地震により、木材住宅に対し、不安が広がっている。地震に強い木造住宅をテーマに研修会を増やし、施工事業者の知識の向上に努める。熊本経済活性化のため、材料は熊本の材料をできるだけ多く使う。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

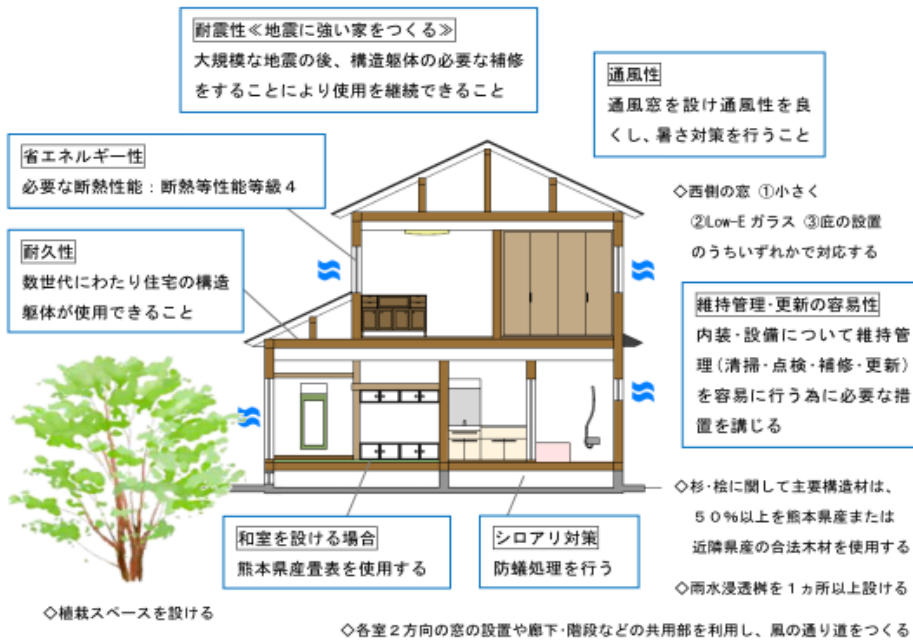
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 新・肥後住宅『ABAIE』(アバイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県及び近隣県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) くまもと未来の住宅を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0222-0758	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



性能向上計画認定住宅

- ・高効率給湯器
- ・高効率エアコン
- ・庇
- ・サッシ など

認定低炭素住宅

- ・高効率給湯器
- ・高効率エアコン
- ・節湯水栓
- ・LED照明 など

ゼロエネルギー住宅

- ・高効率給湯器
- ・高効率エアコン
- ・太陽光発電システム
- ・節湯水栓
- ・サッシ
- ・断熱材
- ・照明

U A 値 = 0.6 以下
R O 値 = 22% 以上削減

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。